平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月8日

上場会社名　株式会社イナリサーチ　　上場取引所　大
コード番号　2176　URL　http://www.ina-research.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中川博司
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 社長室長　(氏名) 野竹文彦　TEL 0265-73-6647
四半期報告書提出予定日　平成23年2月9日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	2,844	20.4	△15	—	△76	—	△72	—
22年3月期第3四半期	2,361	△2.3	19	△90.4	△7	—	△31	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	△2,401.87	—
22年3月期第3四半期	△1,045.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	5,018	1,757	33.6	56,205.81
22年3月期	5,438	1,881	33.1	60,097.43

(参考) 自己資本　23年3月期第3四半期 1,685百万円　22年3月期 1,801百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	500.00	500.00
23年3月期	—	0.00	—		
23年3月期(予想)				700.00	700.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,918	4.5	91	△45.5	38	△74.7	3	△95.0	109.72

(注) 当四半期における業績予想の修正有無　無

4. その他　（詳細は、【添付資料】4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　—社　（社名　　）、　除外　—社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期3Q	29,982株	22年3月期	29,982株
② 期末自己株式数	23年3月期3Q	—株	22年3月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期3Q	29,982株	22年3月期3Q	29,967株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点において入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、実際の業績等は様々な要因により予想と異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．その他の情報 …… 4
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 4
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 4
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 4
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 4
３．四半期連結財務諸表 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書 …… 7
（第３四半期連結累計期間） …… 7
（第３四半期連結会計期間） …… 8
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 10
（５）セグメント情報 …… 10
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 12

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当社グループの主力事業が大きく関わる医薬品業界、とりわけ大手製薬企業においては、いわゆる「2010年問題」に加え、医療費の抑制政策の導入、円高による為替の影響等とりまく事業環境の変化に対し、対応策のひとつとして、豊富な研究開発費を開発後期段階にある新薬の臨床試験に集中し、新薬をより早く市場に出すことで新たな収益源の確保を目指したことから、当社が基幹事業とする非臨床試験への投資は抑制傾向にあります。

当社は、このような厳しい環境の中、製薬企業のニーズに応えるべく、より一層の質の向上のため人事制度の改革と社員教育の強化を、また、スピードアップと信頼性の向上のためIT化の推進と資料保存施設の本社への移設増設を実施し、信頼できる受託試験研究機関：Contract Research Organization（以下「CRO」と言います。）を目指して取り組んでまいりました。

また、臨床試験事業では、Thorough QT(サロ・キューティー）試験の事業化に向けた取り組みに加えて、心電図解析の専門機関である米国Cardiocore Lab,Inc.と平成23年１月業務提携契約を締結し、日本、フィリピン及び韓国の総代理店となり、国内臨床試験施設でも心電図異常のリスク評価をサポート出来る体制を構築いたしました。製薬企業の関心は高く、今後、臨床試験事業への取り組み強化を図ります。

さらに、環境事業では、通常の脱臭装置の保守業務や付随する消耗品の販売に加え、製薬企業研究所への動物飼育機材の納品が進み、売上を大きく伸ばしました。

この結果、当第３四半期連結会計期間におきましては、売上高及び利益ともに前年実績を上回ることができましたが、累計期間では売上高は前年実績を上回ったものの利益面では厳しいものとなりました。この主な要因は、環境事業において動物飼育機材の大口売上がありましたが経費先行となったこと、さらに主力の非臨床試験事業での第１・第２四半期連結会計期間における試験数の減少と海外CROを巻き込んだ競争の激化、また設備投資による固定費の増加等による利益率の大幅低下であります。しかしながら、当第３四半期連結会計期間においては、かねてより取り組んでいた社内体制整備と営業活動の強化の効果が表れ、非臨床試験の受注は、当第３四半期連結会計期間及び累計期間ともに前年実績を上回り利益率は改善されつつあります。今後とも、豊富な経験を活かして信頼性とスピードの向上及びコストダウンに向けた取り組みを継続し、製薬企業から今まで以上に信頼されるCROを目指してまいります。

この様な状況のもと、当第３四半期連結会計期間における売上高は997,534千円（前年同四半期比27.6％増）、営業利益は80,544千円（同326.3％増）、経常利益は55,234千円（同211.7％増）、四半期純利益は27,839千円（前年同四半期は四半期純損失6,119千円）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 非臨床試験

当第３四半期連結会計期間における売上高は757,047千円、営業利益は82,512千円となりました。受注高については、かねてより営業体制の強化に取り組んでまいりました結果、試験責任者の営業訪問等による顧客への踏み込みの強化、海外製薬企業の開拓により、802,655千円と前年実績を上回ることが出来ました。今後、海外市場を含めた新規顧客の開拓に注力するとともに、主力のサル試験を中心とした営業展開を進めてまいります。なお受注残高については1,946,462千円となりました。

② 臨床試験

当事業部門においては、心電図解析の専門機関との連携に取組んでまいりました結果、平成23年１月米国Cardiocore Lab,Inc.と業務提携契約を締結いたしました。同社の日本、フィリピン及び韓国の総代理店となり、国内臨床試験施設でも心電図異常のリスク評価をサポート出来る体制を構築したことから、製薬企業の関心は非常に高く、今後、臨床試験事業への取り組みのさらなる強化を図ります。現在のところ設備投資が先行するため、売上高は754千円、営業損失は16,283千円となりました。

③ 環境

当事業部門においては,製薬企業研究所への動物飼育機材の納品と、脱臭装置の大型工事案件があり、売上高は239,733千円、営業利益は14,315千円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当四半期末の資産、負債及び純資産の状況

資産の部の残高は5,018,662千円となり、前連結会計年度末と比較して419,663千円減少しました。本減少は主に、売掛金の減少によるものであります。

負債の部の残高は3,260,883千円となり、前連結会計年度末に比べ296,410千円減少しました。減少の主な要因は、長期借入金の返済によるものであります。

純資産の部の残高は1,757,779千円であり、前連結会計年度末に比べ123,252千円減少しました。本減少は主に、

利益剰余金の減少によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して57,471千円減少し、243,085千円となりました。当第３四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は435,287千円（前年同四半期は65,108千円の使用）となりました。主な内訳は税金等調整前四半期純損失76,734千円、減価償却費224,233千円、売上債権の減少額134,902千円、たな卸資産の減少額82,762千円、仕入債務の増加額192,449千円、法人税等の支払額75,742千円であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は207,165千円（前年同四半期は486,835千円）となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出225,360千円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は275,951千円（前年同四半期は381,399千円の獲得）となりました。主な内訳は短期借入金の純増加額30,000千円、長期借入による収入100,000千円、長期借入金の返済による支出350,091千円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成22年11月４日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

・会計処理基準に関する事項の変更

資産除去債務に関する会計基準の適用

第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

これにより、営業損失及び経常損失はそれぞれ506千円増加し、税金等調整前四半期純損失は1,920千円増加しております。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	286,180	361,715
受取手形及び売掛金	319,210	462,384
商品及び製品	3,013	2,538
仕掛品	844,598	840,718
原材料及び貯蔵品	221,121	323,415
その他	199,923	183,761
貸倒引当金	△3,526	△5,395
流動資産合計	1,870,522	2,169,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,623,059	3,573,816
減価償却累計額	△1,731,398	△1,577,006
建物及び構築物（純額）	1,891,661	1,996,810
土地	818,527	824,349
その他	971,178	975,158
減価償却累計額	△690,045	△667,932
その他（純額）	281,133	307,226
有形固定資産合計	2,991,322	3,128,385
無形固定資産	120,486	103,036
投資その他の資産		
その他	37,231	38,666
貸倒引当金	△900	△900
投資その他の資産合計	36,331	37,766
固定資産合計	3,148,139	3,269,188
資産合計	5,018,662	5,438,325
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	490,777	300,423
短期借入金	250,000	220,000
1年内返済予定の長期借入金	434,604	444,580
未払法人税等	4,868	79,256
前受金	695,993	648,099
賞与引当金	29,520	92,734
その他	226,492	400,425
流動負債合計	2,132,254	2,185,519
固定負債		
長期借入金	857,565	1,097,680
退職給付引当金	2,852	3,776
役員退職慰労引当金	52,500	49,725
その他	215,710	220,593
固定負債合計	1,128,628	1,371,774
負債合計	3,260,883	3,557,294

（単位：千円）

	当第３四半期連結会計期間末 （平成22年12月31日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	684,790	684,790
資本剰余金	600,790	600,790
利益剰余金	482,540	569,544
株主資本合計	1,768,120	1,855,124
評価・換算差額等		
為替換算調整勘定	△82,958	△53,283
評価・換算差額等合計	△82,958	△53,283
少数株主持分	72,616	79,190
純資産合計	1,757,779	1,881,031
負債純資産合計	5,018,662	5,438,325

（２）四半期連結損益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
売上高	2,361,473	2,844,289
売上原価	1,696,506	2,233,478
売上総利益	664,966	610,810
販売費及び一般管理費	645,233	626,524
営業利益又は営業損失（△）	19,732	△15,713
営業外収益		
受取利息	187	140
受取賃貸料	9,945	8,125
その他	3,731	2,150
営業外収益合計	13,864	10,416
営業外費用		
支払利息	28,174	33,396
為替差損	7,235	29,644
その他	5,368	7,967
営業外費用合計	40,778	71,009
経常損失（△）	△7,180	△76,305
特別利益		
前期損益修正益	6,539	－
固定資産売却益	170	－
貸倒引当金戻入額	3,116	1,567
特別利益合計	9,825	1,567
特別損失		
固定資産除却損	1,981	582
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	1,413
特別損失合計	1,981	1,996
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	663	△76,734
法人税、住民税及び事業税	4,988	4,058
過年度法人税等	16,093	－
法人税等調整額	9,547	△9,820
法人税等合計	30,629	△5,761
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	－	△70,973
少数株主利益	1,367	1,039
四半期純損失（△）	△31,333	△72,012

（第３四半期連結会計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結会計期間 （自　平成21年10月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （自　平成22年10月１日 至　平成22年12月31日）
売上高	781,911	997,534
売上原価	555,623	708,285
売上総利益	226,287	289,249
販売費及び一般管理費	207,393	208,704
営業利益	18,894	80,544
営業外収益		
受取利息	50	41
受取賃貸料	3,546	1,923
為替差益	7,928	－
その他	120	1,143
営業外収益合計	11,646	3,108
営業外費用		
支払利息	10,171	10,813
為替差損	－	12,267
その他	2,649	5,337
営業外費用合計	12,821	28,418
経常利益	17,718	55,234
特別利益		
前期損益修正益	6,539	－
固定資産売却益	170	－
貸倒引当金戻入額	554	994
特別利益合計	7,263	994
特別損失		
固定資産除却損	113	379
特別損失合計	113	379
税金等調整前四半期純利益	24,869	55,849
法人税、住民税及び事業税	1,962	1,573
過年度法人税等	16,093	－
法人税等調整額	12,410	26,136
法人税等合計	30,465	27,710
少数株主損益調整前四半期純利益	－	28,139
少数株主利益	523	300
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△6,119	27,839

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成21年４月１日 至　平成21年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	663	△76,734
減価償却費	212,656	224,233
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△4,630	△1,839
賞与引当金の増減額（△は減少）	△94,409	△63,214
退職給付引当金の増減額（△は減少）	8	△560
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2,675	2,775
受取利息	△187	△140
支払利息	28,174	33,396
固定資産売却損益（△は益）	△170	－
固定資産除却損	1,981	582
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	1,413
売上債権の増減額（△は増加）	167,584	134,902
たな卸資産の増減額（△は増加）	△101,398	82,762
仕入債務の増減額（△は減少）	△68	192,449
前受金の増減額（△は減少）	△269,739	60,511
その他	73,331	△46,880
小計	16,470	543,656
利息及び配当金の受取額	187	140
利息の支払額	△27,147	△32,767
法人税等の支払額	△54,619	△75,742
営業活動によるキャッシュ・フロー	△65,108	435,287
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額（△は増加）	△9,062	18,063
有形固定資産の取得による支出	△471,773	△225,360
無形固定資産の取得による支出	△3,861	－
その他	△2,136	130
投資活動によるキャッシュ・フロー	△486,835	△207,165
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	40,000	30,000
長期借入れによる収入	600,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△187,200	△350,091
リース債務の返済による支出	△25,351	△40,973
株式の発行による収入	1,600	－
配当金の支払額	△47,649	△14,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	381,399	△275,951
現金及び現金同等物に係る換算差額	△348	△9,641
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△170,892	△57,471
現金及び現金同等物の期首残高	306,186	300,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	135,293	243,085

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）

	医薬品非臨床試験事業（千円）	臨床試験事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	741,363	－	40,547	781,911	－	781,911
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	741,363	－	40,547	781,911	－	781,911
営業利益又は営業損失（△）	57,869	△14,109	△24,865	18,894	－	18,894

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

	医薬品非臨床試験事業（千円）	臨床試験事業（千円）	その他事業（千円）	計（千円）	消去又は全社（千円）	連結（千円）
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	2,263,251	－	98,221	2,361,473	－	2,361,473
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	－
計	2,263,251	－	98,221	2,361,473	－	2,361,473
営業利益又は営業損失（△）	144,697	△45,483	△79,480	19,732	－	19,732

（注）１．事業区分の方法

事業は、製品の系列及び市場の類似性を考慮して区分しております。

２．各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
医薬品非臨床試験事業	医薬品開発のための安全性試験、薬効薬理試験
臨床試験事業	医薬品開発のための臨床試験の受託
その他事業	空調装置、スクラバー（ガス除去装置）、脱臭剤搭載装置の開発・施工・販売等、食品の非臨床試験及びヒト臨床試験の受託

〔所在地別セグメント情報〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）

	日本 （千円）	フィリピン （千円）	計 （千円）	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	781,910	0	781,911	－	781,911
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	44,797	44,797	(44,797)	－
計	781,910	44,798	826,708	(44,797)	781,911
営業利益	32,718	469	33,187	(14,293)	18,894

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

	日本 （千円）	フィリピン （千円）	計 （千円）	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,361,453	19	2,361,473	－	2,361,473
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	－	93,443	93,443	(93,443)	－
計	2,361,453	93,463	2,454,917	(93,443)	2,361,473
営業利益	40,802	97	40,899	(21,166)	19,732

（注）国別に区分しております。

〔海外売上高〕

前第３四半期連結会計期間（自　平成21年10月１日　至　平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

前第３四半期連結累計期間（自　平成21年４月１日　至　平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10％未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

〔セグメント情報〕

１．報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社取締役会は、事業を製品・サービス別に区分して業績を評価しております。したがって当社は、動物試験を通じて医薬品・食品の開発支援を行う「非臨床試験」、ヒト試験を通じて医薬品・食品の開発支援を行う「臨床試験」、実験動物施設の設計及び機材の販売を行う「環境」の三つを報告セグメントとしております。

「非臨床試験」は、製薬企業等から委託を受け、実験動物や細胞を用いて医薬品及び食品の安全性や有効性の確認を行う非臨床試験を実施しております。「臨床試験」は、医薬品及び食品の安全性や有効性を臨床において確認する試験を行っております。「環境」は、脱臭剤搭載装置の設計・販売等を行っております。

２．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第３四半期連結累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	2,197,951	982	645,355	2,844,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,197,951	982	645,355	2,844,289
セグメント利益又は損失（△）	45,939	△40,189	△21,462	△15,713

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

当第３四半期連結会計期間（自 平成22年10月１日 至 平成22年12月31日）

（単位：千円）

	非臨床試験	臨床試験	環境	合計（注）
売上高				
外部顧客への売上高	757,047	754	239,733	997,534
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	757,047	754	239,733	997,534
セグメント利益又は損失（△）	82,512	△16,283	14,315	80,544

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書上の営業損失であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。